



セントポールズ・リリー

立教セカンドステージ大学 社会貢献活動サポートセンター

# RSSC プラチナ社会創造研究会

ニューズレター

Vol.1 Jun, 2016

## トピックス

昨年度は日本版 CCRC、地方創生、豊島区・秩父市共生PJをテーマとして活動いたしました。今年度は、豊島区が秩父市との共生に積極的になってきていることから「豊島区・秩父市共生PJ」に注力して活動します。2016年度は8期生によって運営しますが、6期生から9期生まで多世代で活動します。会員のみなさま積極的なご参加をお待ちしています。  
(代表 小池久雄)

### 第1回5月 研究会報告

- ① 2016年度活動方針発表 代表 8期生小池久雄
- ② 講師 三菱総合研究所 主席研究員 森卓也様
- ③ 講師 RSSC 社会貢献活動サポートセンター顧問 坪野谷雅之先生

■ 期日:2016年5月25日(水)13:00~14:30 ■ 会場:セントポールズ会館(芙蓉) ■ 6期・7期・8期 計19名

#### ① 2016年度活動方針発表 代表 8期生小池久雄

7期生の運営におかれましては、数々の輝かしい活動実績を残されました。今期もその趣旨、方針を引継ぎ活動して参ります。



2016年度活動方針発表  
する8期小池代表

#### ④多世代(6期生~9期生)による活動

RSSCの研究会、同好会はややもすれば単一期生による活動になりがちですが、本研究会においては、引続き多世代により活動します。多世代交流により、その経験を共有し、結果として研究成果の質を高めます。

#### ⑤「豊島区・秩父市共生PJ」に注力する

坪野谷先生と高野区長のご関係よりスタートした本プロジェクトは、2016年3月11日に豊島区に提出した「秩父視察に基づく提言書」が評価され、このたびプロジェクトの正式メンバーとなりました。

詳細は岩熊副代表、および森主席研究員、坪野谷先生から説明していただきます。

#### ①研究会 登録会員数

6期生 6名 7期生 17名 8期生 17名  
合計 30名

#### ②三菱総合研究所との連携

引続き三菱総研と連携し、キラキラ輝く「プラチナ社会」を創造するためのフィールドワーク、研究、提言活動を行います。

#### ③「二地域居住」を年度のテーマとする

地域創生においては、都会人の地方移住をイメージしているが、「移住」が必ずしも最終目標ではない。ひとそれぞれにストーリーを持っており、「二地域居住」は「移住」よりも現実的な選択であろうという前提で研究活動する。

#### ② 講師 三菱総合研究所 主席研究員 森卓也様

「二地域居住を推進する自治体事例」と「豊島区・秩父市共生PJへの積極的取組み」



三菱総研森主席研究員  
による講演

## 神奈川県三浦市の二地域居住

三浦市が企画中のVTR紹介

- ・好立地、都心から90分と近い 二地域居住に適している。
- ・三浦市の提供する支援サービス等が充実している  
健康管理、買い物、仕事、ボランティア、市民講座、地域参加など。
- ・市民の声  
新鮮なさかな、温暖な気候、質の高い生活、自分らしい生き方が出来る。

## 岩手県八幡平 地方リゾート型CCRC

2015.7に開業済み「oak Field」

東北地域の住民が居住してきた。

集客を考慮し、建物は改築ではなく新築した。

行政はルネサンス社と組んで、見学客をツアーで視察に呼び込んだ。

開業後に見えてきた課題

- ・部屋が狭い23㎡程度 もっと荷物を整理して移住すると踏んでいた。
- ・交通事情 二次交通の整備が必要 車、カーシェアリングなど。
- ・金融機関からは、要介護の方も受け入れて収益性をアップしたらどうかとのアドバイスがある。  
(現状は健康な方の移住を前提としている)

## 秋田市 駅前高層ビルCCRC

駅前マンション型のCCRC事例もある。

## 秩父市×豊島区 CCRC 構想実現化プロジェクトを進めるにあたって

(以下森講師の講演資料より)

① ワークショップを「楽しかった」で終わらせない。

- 「成果発表」ではなく、「成果を採用するかしないか」を問う場に。

→坪野谷先生に講評いただくのではなく、秩父市長に採否を問う。

- 「現地視察」を単なる見学旅行にしない。

→ショートステイによるフィールドワーク。

② ワークショップを「他人事」で終わらせない。

- ワークショップ・アウトプット（成果物）を実りあるものに。

→秩父市側からの問題提起（NPO・企業）に対する解決策の提示。

- 思いつきのアイデアでなく、「自分事」として考える。

→ワークショップ終了後に参加者を構想実現の担い手とする仕組み。

③ ワークショップだけではアイデアはではない。

- ワークショップ以外での検討が鍵。

- ワークショップとは別に、RSSCメンバーとして構想案を。

## ③講師 RSSC社会貢献活動サポートセンター顧問 坪野谷雅之先生

「新しいライフスタイルの生き方」



坪野谷先生講演

- シニアは社会のコストではない、地域活性化のパワーである。
- 来年RSSCは10周年を迎える。文化は5年、伝統は10年、というスピードの時代である。RSSCの10年はまさしく伝統となった。
- RSSCでは、春学期に「修了生が語るアクティブシニアの生き方」が開講され、秋学期には三菱総研の松田主席研究員、森主席研究員を講師にお迎えして「アクティブシニアの21世紀社会共生」を予定している。
- 教育の世界でもイノベーションを図る必要がある。



総会後の集合写真

以上

RSSC プラチナ社会創造研究会

代表 8期生小池 久雄、副代表 8期生岩熊 徹、

総務 8期生青木 美恵 rsscplatinum@gmail.com